

地球温暖化防止のとりくみ

プロジェクト内容

東海三県地域の水資源確保や多発する災害対策として、木曾三川(木曾川、長良川、揖斐川)流域の保全と水の安定供給を目的とした水源地域の森林整備を進めています。

木曾三川水源造成公社の
オフセット・クレジット(J-VER)
～水源の森づくりプロジェクト～

近年において、森林の公益的機能の高度発揮に対する要請が益々高まりつつあり、地球温暖化防止や国土の保全、生物多様性の保全や保健・レクリエーションの場を提供する機能など森林の多面的機能へのニーズは大きい。このため、重要となる「水源林」としての機能をさらに高めていくため、長伐期施業の間伐等の適切な実施によりCO2の吸収量の増大を図り、又、流域の住民参加による、間伐、水源林散策などを体験できる水源林見学会等の活動を通し、自治体や住民、企業との連携による森林づくりを進めています。

今回、2007年度から2010年度までに間伐を実施した692ha分について、13,497トンのCO2オフセット・クレジット(J-VER)を取得し、このたび販売することが可能になりました。

オフセット・クレジット(J-VER)取得状況

プロジェクト対象地：高山市(高根町、朝日町、久々野町)、下呂市金山町、中津川市付知町

間伐実施面積：692ha

クレジット取得量：13,497t-co2

(販売できるクレジット量はバッファ分を除いた13,093t-co2となります)

オフセットクレジット(J-VER)とは

「カーボン・オフセット」とは、個人や企業が、自分が排出する温室効果ガスのうち、削減が難しい分を、他の場所で実現した温室効果ガスの排出削減量や吸収量などを購入することで相殺(オフセット)することです。

「オフセット・クレジット(J-VER)制度」とは、政府が平成20年11月に開始した、カーボン・オフセットの信頼性を高め、国内の排出削減・吸収プロジェクトによる温室効果ガスの排出削減・吸収量の認証やクレジットの発行・管理等の仕組みを定めた制度です。

